

グループ名	オーシャン・ハイ・田中 (1班)
グループメンバー	[Redacted]
活動テーマ	最低限の自給自足

① 目的達成にむけて、実際に何をやったか

- 濁った水をきれいな水に過濾した。
- 木を捨てる。木の干し筆を作った。
- 魚を捕まえようとした。
- 暑い時、クーラーを使わず海に入ること。クールダウン。
- 竹でコップとおはしを作った。
- スパトを使わない。
- 与えられた食材で夕食を作った。
- 食器を海水で洗った。
- カヌーで移動した。

② やってみて気づいたこと・考えたこと

- 普段何気なく使っている水の量が膨大な筆。
- 何か小さな事をするとまでも、道具などの中から作るものは作らせないこと。
- ところどころにあるもので、身の回りのものを作れること。
- お風呂、トイレなど水回りのありがたさ。
- 人の努力があることで、自分たちの便利が成り立っている。

③ 実際にやったことが、どんな意味を持つか・役に立つか

- バイオトイレを使ったことで節水になった。→ 1泊2日だったので我慢できたことかなと思った。
- 洗剤を使わないことで、海洋汚染を防いだ。
- 電気を最低限の使用量で過ごしたことで、CO₂の排出を防いだ。
- プラスチックをなるべく使わないことで、魚への影響を減らした。
- 竹でコップとおはしを作ったことで、 unnecessary 木の伐採を防いだ。

④ 活動を通して、考えられる課題やその解決策、そしてSDGs17の目標との関連は？

- コップとおはしを持ってくることがなかった。
 - ② 竹は最終燃やして再利用できずから。
 - ③ 伐採にはものごとく、落ちていたものだから新たに環境を壊すことがない。
- 現地にありもので作成した。
 - ⑦ 自分達が使った生ごみエネルギーを他の人に回す。(エネルギー = 利便性がある製品)
- (プラスチックはもえないけど竹はもえる)
- 現代の利便性があるものは環境に悪い。
 - ⑩ この場にあるものを燃料に燃やしてエコに作り出す。
- 環境に配慮したもので代用する。
 - ⑪ 排泄物を土にかえることで、土地に栄養を与えられる。
- 生ゴミを捨てる所がなかった。
 - ⑫ 有害物質を長時間吸うことで健康を損ねる。清潔じゃないから感染症をひく。
- 火かまどで燃やせば再利用した。(海に捨てるのはダメ、エコ)
- バイオトイレがなかった。
- 換気をこまめに行って、清潔にしておく。(感染症を防ぐため)

この「無人島活動振り返りグループシート」は、記入後リーダーが回収してください。

グループ名	ゆかいな仲間達 小徳島 ②
グループメンバー	[Redacted]
活動テーマ	無人島生活をSDGs17に関連させてみる!! 6.14.15の日曜日を過ごす

① 目的達成に向けて、実際に何をやったか

- ① 海にエビ釣った (クエエビ) → ④
- ② ついでして → ④
- ③ 日の出を見た、星を見た → ④
- ④ 自炊をした → ④
- ⑤ 海ボタエを採った → ④
- ⑥ この島を一周した。

② やってみて気づいたこと・考えたこと

- ① 夕刻が寂れていると聞いた。島では何やら自然の音で聞こえる。
 - ∴ 自由に自分の食事を食べるのが難しい
- ② 生態形が変化してしまっている。
 - ・ フリの仕方を知らず涙が止まらなかった。
- ③ 月や太陽が綺麗に見えると感じた。
 - ④ 大波 (準備、火おこし等)
 - ・ 人間の日常生活にあるものがあつた感じがした。
 - ⑤ 未知の世界だった。岸の場所がなかった。
 - ⑥ 楽しかった。(昔の人が信じがたかった)
 - ・ 手動と自動の違いがはっきり分かった (エビ釣りに対してクエエビ)

③ 実際にやったことが、どんな意味を持つか・役に立つか

自分達が最小限の資源で、無人島で生活してこられた。同様の環境で生活している人がほっとするのを想像しやすくなった。

→ 今後どんな行動していくかはっきりと分かった。

Ex. マンタ、手動のエンジン etc...

④ 活動を通して、考えられる課題やその解決策、そしてSDGs17の目標との関連は?

<p>SDGs 4 教育</p> <p>ついやボートブック作りを体験した時に、知識を伝えたから、私たちが生活する事ができた</p> <p>→ 他の国でも、教育者が必要</p> <p>Ex. 青年海外協会の</p>	<p>SDGs 9.10 11V-エビ、不平等</p> <p>・ マンタ島に接した時に、エンジンのボートで島に到着した時の便利さの違いを感じた。</p> <p>→ 他の国に、手動のエンジンを作る方法を伝える。</p>
<p>SDGs 6 水衛生</p> <p>使用できる水を多く作り出す方法を考える事も大切だ、気づいた。</p> <p>水はどう使うか考える事も大切。</p> <p>Ex. 井戸水がなかった</p>	<p>SDGs 12.14.15 生産・消費・海洋資源・陸上資源</p> <p>・ この島で生活していた時、水が足りなくなることが多く、ゴミを減らした。</p> <p>→ ゴミを減らして回収できる仕組みを作る。</p> <p>→ ゴミ → ゴミの分別、透明のゴミ箱に分別、同じ匂い同士は分別して置く。分別する。分別する。</p> <p>→ 社会に分別しやすくなるようにする。</p>

この「無人島活動振り返りグループシート」は、記入後リーダーが回収してください。

グループ名	原始人 ②
グループメンバー	[Redacted]
活動テーマ	一日原始人life ~ 海と茶にはまると ~

① 目的達成にむけて、実際に何をやったか	
<ul style="list-style-type: none"> ・ ものずしむお作り ・ テント作り ・ 海へ釣り魚やアコを釣る ・ ウェビボタル採取のために協力(人に聞く... ecc.) ・ お茶を作った 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 火を起こした ・ 親交を深めた ・ コーヒーを分別した ・ シーグラスを回収した ・ 不便を体験 ・ 少しでもゴミを減らしたい、使えるものはゴミを使わない
② やってみて気づいたこと・考えたこと	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 当初前は当たり前ではない ・ 得意分野はみんなの得意分野 ・ キレイな水は少ない! 汚い! ・ 日焼け止め、虫よけスプレーを忘れてきた ・ 海に入ると水が汚染しているのでは? 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大阪: 電気がなくて困る! ・ コ: 電気がなくて困る! → 将来はどうだろう? ・ 両方とも難しいところ... ・ 分別の大切さを知った。 ・ 体験したいと身近に感じにくい。体験が大切 ・ 食料確保の難しさ。
③ 実際にやったことが、どんな意味を持つか・役に立つか	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 分別は環境にやさしい! ・ 災害時に他の状況にも活用できる ・ 当たり前を無意識に! ・ 水は無害な日焼け止めやアコが釣れる着用品で水の環境にやさしく! ・ ほう・めん・とう! 大切!! 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海での危険性を事前に知った ・ 軍手必須!! ・ 1ヶ所の事前防止 ・ 自分の知識にたよる ・ 人間も自然の一部!
④ 活動を通して、考えられる課題やその解決策、そしてSDGs17の目標との関連は?	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 水と海水の比率が大切、復讐継着が必要だと思う。 6, 11, 12 ・ 日常を小さく取り戻したい。コト対策しかない! 3 ・ 木材やビニール材の大切さ、大切に使う、知識の共有 1, 4, 11 ・ 行動でできる(問題は知っているのに...), キャンプなどの活動で実践する 1~17 ・ キレイな水の量が少ない, 節水! 6, 12 ・ 人は「まあいいか」が好きな。やっぱり体験が一番!! 1~17 ・ みんなのためのルールをきちんと守る。 ・ 虫の命も大切に! ・ 小さな自然も大切に! ・ 自然に親しみ、たのしみ。 ・ 日常で少しでも節約を! ・ お互いの考え方や意見を発信していく。 	

この「無人島活動振り返りグループシート」は、記入後リーダーが回収してください。

グループ名	東京特許許可局	4
グループメンバー	[Redacted]	
活動テーマ	楽しみながら、身近な環境問題を再認識する。	

① 目的達成にむけて、実際に何をやったか		
<ul style="list-style-type: none"> 11がた"を"作らうとした → ビート板に貼った、 8時に星空を撮影。大阪のものとは比べた。 ゴミひろいした、 	<ul style="list-style-type: none"> ・11がた"で長い距離をこいた! ・ス"マ"の"を"で生活をした、 ・海がきれいだった 	<ul style="list-style-type: none"> ・お"血"流"い"と"が"わ"った、 ・"か"ー"フ"く"た、 ・"石"を"も"の"に"見"て"て"あ"ら"わ"た、
<ul style="list-style-type: none"> ・15時ごろから"は"ん"こ"は"ん"も"つ"く"た、→"あ"の"時"間、人"が"必"ず"→"で"ま"た"も"の"が"あ"ら"わ"ら"な"い"!! ・バイオトイレをいれて、水洗トイレのありがたさを感じた。 ・木がなくなると、水のありがたさを感じた。 →水は有限 		
② やってみて気づいたこと・考えたこと		
<ul style="list-style-type: none"> ・テントが暑かった。 ・石がいたがった ・人が浮くための条件は、<u>1つだけじゃない</u> バランス、密度、重さ、<u>力を抜くこと(場所)</u>、下まき、質量、 ・虫の音がから"攻撃"してくることは、<u>思ったにない</u> (魚も同じ) ・やるべきことが明確に分かてい"ない"。47"な"時"間"を"あ"ら"わ"さ"な"い"。 ・意思統一、連絡手段が重要。(報告連絡相談) 	<ul style="list-style-type: none"> ・も"と"で"動"か"す"の"に"は"相"当"な"エ"ネ"ル"ギ"ー"が"あ"る。 ・"か"ー"フ"で"動"く、お"血"運"ぶ、 ・夜は暗い ・7"時"の"夜"の"動"き"は"に"ど"い ・石の使い道は無限大 	<ul style="list-style-type: none"> ・都会には ・光が強い ・空気がいい ・天気がいい
③ 実際にやったことが、どんな意味を持つか・役に立つか		
<ul style="list-style-type: none"> ・海岸のゴミが減って、動物の暮らしが良くなることも改善された。 ・全てにおいて苦労したので、感謝の気持ちを持ち直すことができた。 ・午間が、た"い"発"注"ス"ク"ア"ー"ル"だ"け"で"も"浮"く"か"ら、作"ら"な"い"も"の"、"意"味"あ"る"人"が"か"? ・30分した時に、今回学んだ石の使い道を使いこなすことができた。 ・災害のときにも、牛乳パックのホトトギスの作りかた役に立つことがあった。 ↳2.4が"ない"と"い"い"!! →2.4を"持"つ"た"ら"ど"う"?" ↳2.4"な"し"て"も"火"起"こ"さ"な"い"よ"う"だ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・星空 ・限りある資源を大切にしようとする意識が芽生える。 ・都市では見えないものがあつた。 ↳どういった見えないものがあるのかも知れた。 ↳星を見るときには電気を消さす!! 空気をキレイにしよう(植物) ↳誰か見ることによって 99%の人からより多くの人に実感してもらえろ。 	
④ 活動を通して、考えられる課題やその解決策、そしてSDGs17の目標との関連は?		
<ul style="list-style-type: none"> ・11がた"が"く"り ・漂着物が99% →7-7"フ"ォ"ー"ム"の"授"業"を"行"う。(最初に教えて、その後一緒にやる、ex)→"あ"い"ぢ"い) 14、ゴミが漂着し水中の生物に影響を与え、生態系を破壊するから。 12、人間が出したゴミの量で自覚すること、ゴミの削減につながる。 15、陸上の生物は鉄に悪影響を与える、ゴミが増える→使えぬ土地が増える。 11、町中のせいけつさ、町の動物の生態系がくずれることによって人間の生活もあやうくなるから。 ・空気のよさを気にすることが多い →町の電気を消すプロジェクト(企業に協力してもらったり、SNSで拡散したりして、町全体の削減を目指す) 13、空気がよくなること、いつもは見えなかった星が見えるようになるので、その星を守りたいという意識が高まり、自然環境がよくなる。 11、エネルギー使用量が増え、地元の人の協力が必要になる。 7、電気の使用量を削減することで、不要なエネルギーを使わなくて良くなり、住み続けられる町にもつながる。 8、あつた水は再利用・リサイクルが求められる。 		

この「無人島活動振り返りグループシート」は、記入後リーダーが回収してください。

グループ名	Λo-ちびんず (5期生)
グループメンバー	[Redacted]
活動テーマ	火を 最も最低限の生活の中で、最大限の自然を感じる

① 目的達成にむけて、実際に何をやったか

- ① 砂時計の作成のために 貝殻を集めて、つぎとした。
- ② 自分たちで火をおこし料理をした。
 - ・ 星空を満すの隙間は、空を見て時間を考えた。
 - ・ 網鮎はカマでした。(太陽が真上にあると正午だと分かった)
 - ・ 足の悪い石場を歩いた。(人工物)
- ・ 自然の中の音をたくさん感じた。(波音、虫の音)
- ・ 電灯のない中で生活した。
- ・ テントを自分で立てて、生活の拠点をつくれた。
- ・ 男子は、自分で考えて行動した。

② やって来て気づいたこと・考えたこと

- ・ 水も限りある資源だと感じ、普段の生活でも気を付けようと思った。
- ・ 普段の住んでいるときには見えない清涼の星空を見て、特に街灯の光が邪魔な感じがした。
- ③ 必要最低限の生活の道具のように作り直して行くことを考えた。(料理する道具の調理器具の数、寝るための寝具の数)
- ・ コンセントが1個中で、生活するのは不便だと感じ、改めて自分で充電できるものは便利だと感じた。
- ・ 時計が家電製品が生活をして、自分たちが普段と違って道具に依存しているのを感じた。
- ・ 自然の偉大さを感じた。(太陽が人工物にならない、9月半ばまでの自然を最大限に感じた)

③ 実際にやったことが、どんな意味を持つか・役に立つか

- ・ 体がつか。(なでもお風呂は、カマで薪を焚きで移動して生活するのは)
- ・ 二本がもって環境にいい物作りをしていく。(→ 無人島にあるものを活用して砂時計を作成するのは)
- ・ 電気が使えても火がなければ生活できないことを知ったから、無人島では電気が使えないので、節電への意識向上。(→ 非常時には電気が使えないので、節電意識を高める)
- ・ 牛乳パックでの調理は緊急時でも役立つ。(湯瓶を使う代わりに牛乳パックを使う方法がある)
- ④ 環境に優しい生活を心がけよう。(→ 東大でつくった環境に優しい無人島では、お風呂もトイレもありません)
- ・ 環境に優しい生活を心がけよう。(→ 東大でつくった環境に優しい無人島では、お風呂もトイレもありません)

④ 活動を通して、考えられる課題やその解決策、そしてSDGs17の目標との関連は?

- ① 人間による汚染の海
 - (→ 海ではプラスチックの制限、海に良い日焼け止めの開発、ゴミ箱を適切に設置、生活の制限/意識が湧いてきたら11000)
- ② 作りだすフードロス、無駄な消費
 - (→ 受注生産を推奨、作り量を減らす(貧困削減の観点で有効が有効) 必要最低限の量(物)；消費期限を注意)
- ③ 水のつかず、
 - (→ どの用途でどのくらいの量を節約か、使う前を考える。)
 - ・ お風呂に入るとき、シャワーで済ませる(湯船の水を待たず)
 - ・ 出かける際の制限(生活での節水)
 - (最低限の量で生活できるように)

SDGs17の目標との関連は?

- ④ 海洋資源 / 海の汚染問題
- ⑥ 水・衛生
- ⑧ 働きがいと経済成長
- ⑨ 産業・消費
- ⑩ 気候変動
- ⑫ 飢餓(無人島では食料を自分で採集)
- ⑬ 水・衛生
- ⑭ 住みやすい都市

この「無人島活動振り返りグループシート」は、記入後リーダーが回収してください。



グループ名	ハ、人、た、ち ⑥
グループメンバー	[Redacted]
活動テーマ	リサイクル

① 目的達成にむけて、実際に何をやったか

・ 海に落ちている シーグラス を使って 物作り
 ・ ぶくろや木を使って 扇作り
 ・ ご飯のときに 限られた水で作った。 ・ ご飯を残さず食べた。 ・ 海岸などに絶対ごみを落とさない。
 ・ 最後まで無駄なく物を使った。 ・ 海水をできるだけ汚さないようにした。

② やってみて気づいたこと・考えたこと

・ 海にシーグラスばかりゴメンあふ → 海にたくさんゴミが捨てられている。
 ・ シーグラス以外にもたくさんゴミを見つけた → 海洋汚染がひどい。
 ・ シーグラスはずっと海の中にあっでてきていて、長い年月が経っている。
 ・ ビンは分解されにくい。だからでも簡単にリサイクルができる。
 ・ シーグラスには茶色が多い。1度海に捨てたらリサイクルには手間がかかる。

③ 実際にやったことが、どんな意味を持つか・役に立つか

・ 自分たちでしたことや作ったことを周りに伝える。
 ↳ 興味をもっと人々が増えれば色々な人がリサイクルを心がけてくれる。
 ・ このままの現状を見れば自分たちでできることにやる。
 ・ リサイクルの手間がかかっても少なからず環境をよくなっていく。
 ・ コストが低い。

④ 活動を通して、考えられる課題やその解決策、そしてSDGs17の目標との関連は？

④ ⑫ 「ゴミをそのままにしても海が汚れてくから」という考え方を変える。
 ↳ 自分が自分たちだけのための取り組みに積極的に参加する。 SDGs17との関連 (2, 14, 4, 17, 11)

④ ⑮ 周りの人に興味を持ってもらう。

④ ⑭ なぜ海にゴミ箱がない??

↳ 海にゴミ箱を置く、ゴミ箱の存在をアピール、自分でゴミぶくろを用意

④ ⑬ ほとんどSDGsの問題や中に入っているのどごみが減らない。

↳ 教育方法を根本から変えない → テレビだけでは → たったこの人に見てもらえる工夫が必要

④ ⑩ → SNS (TikTokやYouTube) を使ってSDGs問題を発信。影響の大きい人にSDGsメッセージを届けてもらう。
 ・ 海のゴミを0にするのを不可能と考える。他の中学や高校に訪問授業やSNSを通じて授業に取り入れてもらう。

↳ 0にするという方向性に考える。

グループ名	海 Sea Ocean ⑦
グループメンバー	[Redacted]
活動テーマ	当たり前のない生活をして ありがたみを感じよう。

① 目的達成にむけて、実際に何をやったか

- ・スマホ禁止生活(カメラだけ)
- ・グループで仲を深めた。
- ・ごみ拾い
- ・物干し竿を作った。
- ・発見した生き物の漢字や生態を調べる。

② やってみて気づいたこと・考えたこと

- ・生き物が思ったより少なかった。 ・スマホの便利さと依存性に気づいた。
- ・時間が早く感じた/遅く感じた。(スマホに依存していることが分かった)
- ・やることしかできなかった。
- ・生きていく上での知識や技術が試された。
- ・星がきれい。
- ・漂流物が多かった。 ・たき火は火加減が難しい。
- ・雑糞されている道のありがたみを知った。 ・たき火は暖かい。
- ・水のありがたみも少しは気づいた。

③ 実際にやったことが、どんな意味を持つか・役に立つか

- ・真水作りができなかった → 安全な水をつくることの大変さ。
- ・大量に水を使ってしまった。
- ・ごみ拾い → 環境の保全
- ・物干し竿を作った → 自然の中にあるものでも生活に必要なものは作れることが分かった
- ・インスタしない → 人と話し合うことの楽しさ。
- ・自然に気づいた釣りの仕方 → 環境の保全 → 引かかりにくくなる
- ・たき火はなんでもできる(使用用途がいろいろ)
- ・たき火 → 暖を取る・料理をする。明かり

④ 活動を通して、考えられる課題やその解決策、そしてSDGs17の目標との関連は?

- ・漂流物の多さ → 大量生産でも捨てる人が多い ⇒ (12) コミ箱の工夫・ポイ捨てをできるものに
- ・水(井戸水)の少なさ → 大量に使っていたらため ⇒ (6, 12) 水の使い方の工夫
- ・タニシを取ったりと使わなかった → タニシが生きていた ⇒ (14) 生き物の扱っ方を考える。
- ・今と昔の野島 → 生き物が少なくなってる ⇒ (14, 15) 温暖化をSTOP!
- ・スマホの依存 → 生活リズム、健康の乱れ ⇒ (3, 4) スマホなしでの楽しみを見つける。
- ・星がきれい見えた ⇒ 大阪では少ない ⇒ 大気汚染、曇り ⇒ 植物を植え空気を循環させる
→ 光の多さ、街の明かり ⇒ LEDの光が多いのって?

この「無人島活動振り返りグループシート」は、記入後リーダーが回収してください。

グループ名	だいでゆかいななかまたち。 (♪)
グループメンバー	[Redacted]
活動テーマ	島の前提に、日常生活は、解決したいSDGsの問題を扱う。

① 目的達成にむけて、実際に何をやったか

カヌーを漕いだ。 日の出を見た。
 ゴミ拾い。 火おこして自分たちで料理を作った。 テントをたてた。 そこで泊まった。
 海水で塩をついた。
 キャンプのクイズ
 天体観測

② やってみて気づいたこと・考えたこと

火が思ってたより燃えにくかった。(管状木) 火を維持する為に大量の木材を使った
 思ってたより虫が怖かった 無農薬使っててもたいていないと思った
 虫による害が思ってたより少なかった。 ふたん住人してる家のありがたさを知った。 節電も
 お風呂の大切さを知った。 クーラーなどの温度を調節する機械の ありがたさを知った。
 星が綺麗だった。 便利さを知った。
 島の暗い世界を知った。

③ 実際にやったことが、どんな意味を持つか・役に立つか

ゴミ拾い → 環境問題, マクロプラ → 問題人天災持ち, 12/14, 15
 水不足 → 水のありがたさを知った → 大切に
 暗い環境 → 電気の大切さ → 節約法を知った
 火起こし → カヌー等の大切さ → 考えて使う。

④ 活動を通して、考えられる課題やその解決策、そしてSDGs17の目標との関連は?

ゴミ(主にプラスチック)による海洋・海岸の汚染 → 1人1人、この問題に対
 する意識を高める (SDGs 12, 14, 15)
 熱源の確保による木材の大量消費 → 必要最小限
 (SDGs 7, 12, 15)
 「水」や「火」に関する意識をより高めたいと思う。(きれいな水が常に手に入ることは陽
 がい)
 プラスチック問題を解決するには、私達一人一人がプラスチックをできるだけ使用しな
 例えば、プラスチックのスプーンと紙のスプーンがあるから紙の方を渡さないと1個2個の
 意識付け
 していく事が重要だと思った。

449

グループ名	自衛夢隊 とゆかいな仲間たち
グループメンバー	[Redacted]
活動テーマ	時間と環境を上手に使い、生き残りをはくぐり。

① 目的達成にむけて、実際に何をやったか

SDGs → ゴミ捨いを積極的にできた。 (時間 → カレー作るときにお米の量から作ってカレーして時の時間を合わせた。)

環境 → 日がくくる前に手でやる作業を早めた。

漂着物と見えてゴミが考えた。 たま火の種類が (カレー、ラト、ライオン、トイレットペーパーはビニール袋で包み) 捨てられず的だった。

食器を洗う時に海に通って洗いはなくて 順番早かった。

先に洗い終わって置く。

[物をほすやうに作ることでロープで時短した。] [ついでに身洗した。] [日の出、日の入りと朝起きるのを日かけた。]

② やってみて気づいたこと・考えたこと

- ・ 火と水と魚をつくるの用意、用意が難しかった。
- ・ 無人島で生活してて社会が便利だと気づいた。(水、酸素、温度)
- ・ ゴミが思ってた以上に多かったです。
- ・ テントの中が暑かった。
- ・ 日光が強かった。対策が必要だと気づいた。
- ・ 魚がとれるからとて貴重だと分かった。
- ・ 山の涼しさがたのしみで 減った暑さがあると身を持って感じた。
- ・ 生き残るのが大変だと思った。

・ 葉は外切れやすかったと知った。

・ カレーをこいている時、波の恐ろしさを感じた。

・ 無人島に人が来る事によって、食物連鎖のバランスがくずれしてしまうのでは無いかと考えた。

・ 水が足りない事を使う事は難しかった。

③ 実際にやったことが、どんな意味を持つか・役に立つか

- ・ 知識はいいも行動は悪いと、行動はいいも知識は役に立たない。知識と行動の両方が必要だと感じた。
- ・ 役割分担をすることで、複数の事を同時進行したり、皆の時間を有効的に使ったり、互いの助け合うことが出来る。多人数でやる事は、一人では出来なかった。
- ・ グループワークを行う際は自分の役割が分かる。また、グループを組む時は、役割分担者とどのくらい出来るかを事前に分かる。

④ 活動を通して、考えられる課題やその解決策、そしてSDGs17の目標との関連は?

- ・ 水がない → 先進国から、海水をろ過する機械をあげた (1, 6, 7, 9, 11, 13, 14, 17)
- ↳ 井戸を掘る → 井戸の技術を習得する、地球事情を知る
- ↳ 雨が降らない → 雨を貯るための装置をつくる、スプリングラーを活用する
- ↳ 食糧がなくなったのを防ぐ → 地球温暖化を防ぐ
- ↳ 干ばつ → 省エネ、ゴミ
- ↳ 森林破壊 → 再生可能エネルギーを使用する、意識改革

この「無人島活動振り返りグループシート」は、記入後リーダーが回収してください。

グループ名	H ₂ O (19)	10
グループメンバー	[REDACTED]	
活動テーマ	チーム7-7	

① 目的達成にむけて、実際に何をやったか

・水を作る
・テントをつくる
・夜の役割分担
・テント作りの役割作業

・おたまで7人7人行動
・おたまの役割分担
・やりかたなどが全てできた。
↳ チーム7の達成!!

↳ 最後は、おんがて! アイデアをたいて、みんなと協力して取り戻めた。

② やってみて気づいたこと・考えたこと

・自分の思い通りにいかない。
・意見が通じることがあった
・自分から声をかける

・水を作るのが大変で、その方法
・周りをよく見て行動した
・おんがての難しさ

・価値観の違いがある。
・手に入れているおんがて (森の管理、水の管理)
・風向きが変わるので、火起こし大変
・おんがての難しさ
・おんがての難しさ

・水にやるのが難しかった
・おんがての難しさ

③ 実際にやったことが、どんな意味を持つか・役に立つか

・団体行動の大変さを学んだ。→ おんがての難しさ
・水を作ることで、おんがての難しさ
・おんがての難しさ

・おんがての難しさ
・おんがての難しさ

・おんがての難しさ
・おんがての難しさ

④ 活動を通して、考えられる課題やその解決策、そしてSDGs17の目標との関連は?

・電気がない → 火起こし ... 7, 11
・水がない → 淡水を作る ... 3, 6, 10
・日焼け → 長袖、日焼け止め、帽子 ... 3, 13
・草 → 森の管理 ... 11, 15
・おんがて → おんがて、おんがて ... 3, 13, 15
・暑い → 打ち水、日陰に移動 ... 3, 11, 13
・おんがて → 道具を使う、機械を使う ... 7, 9

人間関係
 ↳ 価値観の違い → おんがて、おんがて ... 11
 ↳ 団体行動 → 情報共有、コミュニケーション ... 17
 ↳ コミュニケーション ... 17
 ↳ 仲間の助けが足りない → 交流を深める、おんがて ... (227)
 ↳ 会話に入りづらい → 無言を減らす